

薬日新聞

発行所◎(株)薬日新聞社
 富山市向川原町4番24号
 本社 〒930-0041 電話(076)421-5666代
 FAX(076)421-5667
 URL <http://www.yakunichi.co.jp/>
 E-mail info@yakunichi.co.jp
 振替 00710-6-4899
 発行日 毎月7日、17日、27日
 購読料 1か年(税込送料共)12,000円
 前納 11,000円

OKIGUSURI

「置き薬」のころを世界へ

講演会とパネル討論

富山県いみず市を世界に発信する会

「伝統の『置き薬』のころを世界へ」と題した講演会とパネルディスカッションが8月27日午後7時半から富山市新総曲輪の富山県民会館で行われた。一般社団法人富山県いみず市を世界に発信する会が主催し、富山県、射水市、一般社団法人富山県薬業連合会、北日本新聞社、薬日新聞社などが後援した。アフリカで置き薬システムの普及に努めている認定NPO法人「アフリメデイコ」代表理事の町井恵理さんが講演したほか、町井さんと交えたパネルディスカッションでは、富山県いみず市を世界に発信する会の矢郷良明代表理事の進行で、富山県立中央病院内科部長の松田耕一郎医師、射水市の真生会富山病院院長の真鍋恭弘医師、配置薬業界から明生薬品工業(株)(射水市)の豊田博保社長、富山県医薬品配置協議会の中屋一博顧問が、置き薬システムを生んだ理念や配置薬業界の現状や今後について述べて意見を交わした。コロナ禍で会場でもソーシャルディスタンスが求められる中、約200人が参加した。

アフリカで「置き薬」の普及に努める町井恵理さんと語り合う

町井恵理さん(左)と語り合う(右)真鍋恭弘医師、松田耕一郎医師

町井恵理さん(左)と語り合う(右)中屋一博氏、豊田博保氏

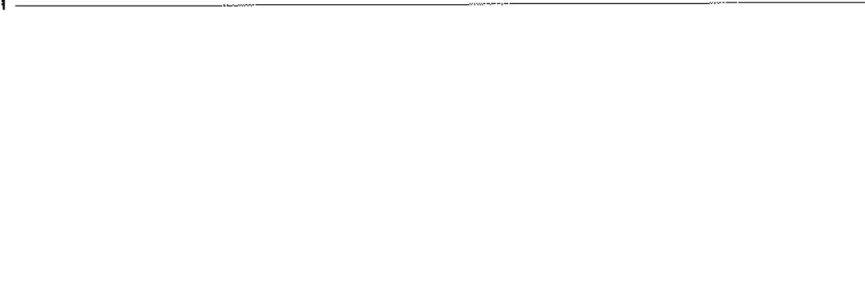
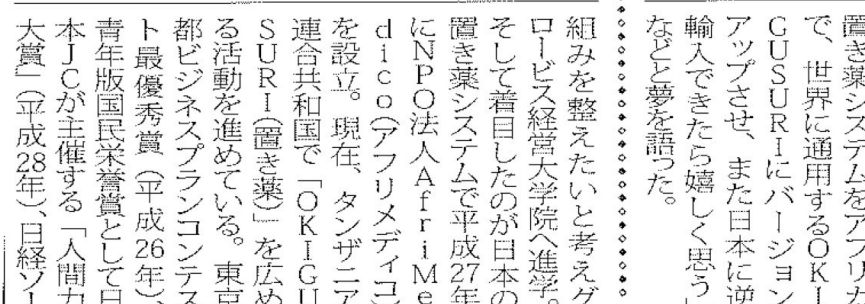
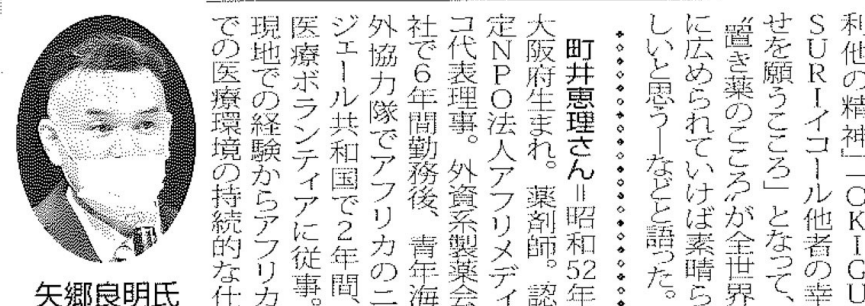
町井恵理さん(左)と語り合う(右)矢郷良明氏

町井恵理さん(左)と語り合う(右)松田耕一郎医師

町井恵理さん(左)と語り合う(右)豊田博保氏

町井恵理さん(左)と語り合う(右)中屋一博氏

町井恵理さん(左)と語り合う(右)矢郷良明氏



熱言冷語
 西アフリカのニジェール共和国で青年海外協力隊の一員としてボランティア活動をしてきたときのこと▼貧しい村の母親が乳幼児を抱えて近づいて来て「このままではこの子は高熱で死ぬかもしれない。病院へ連れて行きたいので1000CF(Aフラン(日本円で約200円)ちょうだい。日本人はお金持ちなのではないですか?」▼現地では日本人を見ればあいさつ代わりに「お金をちょうだい」とだれからも言われるので僅かな額でも断わることになっていた▼一カ月後に再びその村を訪れその母親を見かけたので「子供は元気になったか?」返ってきた一言に愕然とした▼「死んだよ...母親は「死んだ」としか言わなかったがその一言の裏に「お前がお金をくれたからこうなったんだ。そんなお前がなんでいままら死んだ子供のことを聞くんか」との非難を感じた▼2000円は歩くことと▼病院へ行った▼でも行けないアフリカに救うか▼もしあのとき2000円を...との反響がその人の後の人生を大きく変えた▼いまアフリカで置き薬の普及に取り組んでいる▼置き薬の心を世界へ▼認定NPO法人「アフリメデイコ」代表理事である町井恵理さんである。

「OKIGUSURI」を世界共通語に
 パネルディスカッションで町井さんは、置き薬BOXを当初は「メディスンBOX」といったネーミングにしようとしたものの、あえて「置き薬」の言葉そのままだに「OKIGUSURI」とし、アフリカ現地では「おきぐすり」で通じることなどを紹介。真生会富山病院の真鍋院長は、「OKIGUSURI」が世界の共通語となり、「OKIGUSURIイコール富山県」「OKIGUSURIイコール利他の精神」「OKIGUSURIイコール他者の幸せを願うこと」となると、置き薬のころが全世界に広められていけば素晴らしいと思うなどと語った。

富山県立中央病院内科部長の松田医師からは日本とアフリカの医薬品事情の違いや欧米製薬会社の理念、配置薬業界から参加した豊田氏と中屋氏からは日本における配置薬の現状や課題などについても語られ、置き薬のビジネスモデルについて町井さんは「富山売薬や大和売薬など日本発祥の置き薬システムをアフリカで、世界に通用するOKIGUSURIにバージョンアップさせ、また日本に逆輸入できれば嬉しく思う」と語った。

町井恵理さん(昭和52年大阪府生まれ。薬剤師。認定NPO法人「アフリメデイコ」代表理事。外資系製薬会社で6年間勤務後、青年海外協力隊でアフリカのニジェール共和国で2年間医療ボランティアに従事。現地での経験からアフリカでの医療環境の持続的な仕組みを整えたいと考え、ロービス経営大学院へ進学。そして着目したのが日本の置き薬システムで平成27年にNPO法人「Afrimedic」(アフリメデイコ)を設立。現在、タンザニア連合共和国で「OKIGUSURI(置き薬)」を広める活動を進めている。東京都ビジネスプランコンテスト最優秀賞(平成26年)、青年版国民栄誉賞として日本JICが主催する「人間力大賞」(平成28年)、日経ソー

「世界で戦う日本の女性55人」(平成28年)、日経ビジネス「世界を動かす日本人100人」(令和元年)にも選出されている